

# 岡山県の土地改良



## 新年のご挨拶

岡山県土地改良事業団体連合会  
会長 石井 正弘

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方には平素から本会の運営並びに農業農村整備事業の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、皆様が各地域において精力的に取り組まれている多様な活動に対し、深甚なる敬意と感謝の意を表する次第でございます。

昨年は、我が国において初の女性総理が誕生し、新たな時代の幕開けを感じさせる年となりました。この新たな風を追い風に、今年の干支である馬のように、力強く前進するとともに、軽やかに駆け抜ける、勢いと活力に満ちた一年となることを大いに期待しております。

農業、農村を取り巻く状況をみますと、農業従事者の減少・高齢化の進展、農地の減少・荒廃など依然として厳しい状況にあります。農業は食料供給はもとより、国土保全などの多面的な機能を有しているとともに、地域産業として農村地域と密接に関わっており、特に中山間地域では、地域社会の維持が困難となるなど多くの課題に直面しております。

こうした状況を受けて、国は従来の「食料・農業・農村基本法」を見直し、令和6年6月に「食料安全保障」「環境と調和した食料システム」「多面的機能の発揮」「農業の持続的発展」「農村の振興」の5つを基本理念として掲げ、改正法を施行しました。

昨年は、これに基づき、今後5年間の計画期間とする「食料・農業・農村基本計画」が策定され、初動5年間で農業の構造転換を重点的に推進することとしており、農地の大区画化等の整備を推進するとともに、中山間地域においても収益力向上に向けた総合的な整備を実施することとされています。

こうした動きをさらに加速・拡大化すべく、令和8年度の国の予算編成に際し、県内の会員の皆様をはじめ中国四国地域の関係者と連携し、国の関係省庁に対して、県内での取り組みやその成果を具体的に示しながら、農業農村整備事業の重要性を強く訴えてまいりました。

その結果、令和8年度農業農村整備事業関係の当初予算として4,504億円が閣議決定され、さらに令和7年度補正予算を加えることで、昨年度比442億円増の総額6,942億円が確保されることとなりました。特に、農業構造転換集中対策として、令和7年度補正予算で574億円、令和8年度当初予算で166億円が計上されたところであります。これもひとえに、皆様方のご理解、ご協力と熱心な要望活動の賜物であると、心から感謝申し上げます。

今後とも会員の皆様方からのご信頼に応えるとともに、地域の皆様のご期待に沿えるよう、より一層の努力を重ねてまいりますので、引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和8年 元旦



## 新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会  
会長 二階 俊博

令和8年の年頭に当たり、全国の土地改良事業に携わっておられる皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

平素より、農業農村整備事業の推進に対し、関係各位の格別の御理解と御支援を賜っておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、全国各地で記録的な猛暑や集中豪雨など、気候変動の影響が一段と顕著となり、皆様の地域にも大きな影響を及ぼしたのではないかと存じます。

豪雨等により被害を受けられた地域の皆様に対しまして、心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興を祈念いたします。

いま、国際社会は、地球規模で頻発する異常気象や世界的な物価高騰などの諸問題に直面しています。一方、我が国の農業・農村は、農業者の高齢化や減少により、農業の継続やそれを支える農地や農業用水の保全管理が困難になるなどの課題を抱えるなど、農業・農村を取り巻く環境は大きく変化しています。

これらの様々な問題の解決のために、食料・農業・農村基本法や土地改良法の改正が行われ、そして、新たに策定された土地改良長期計画に基づき、令和7年度から11年度までの5年間で農業の構造転換を集中的に進めることとなりました。

競争力のある農業を支える「大区画ほ場整備」や「スマート農業に対応した基盤整備」、また、「中山間地域におけるきめ細かな整備」をスピード感を持って進めていかなければなりません。

本年の干支は「午」ですが、“前進”“飛躍”の年とされています。まさに地域農業が新たな局面へ踏み出す一年となりますことを願うところであります。

令和8年度農業農村整備事業関係予算 政府原案においては、農業構造改革を集中的に進めるため、4,504億円が計上され、令和7年度補正予算を加えると6,942億円となります。

皆様の熱意ある要請活動と農林水産省をはじめとする関係各位の御尽力に厚く御礼を申し上げます。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様の地域の農業・農村が活力を得て、一層発展するよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかにお過ごしになられますよう御祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。



## 新年にあたって

都道府県水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員 進藤 金日子

あけましておめでとうございます。岡山県土地改良事業団体連合会の会員並びに関係の皆様には、私の政治活動にご理解とご支援を頂戴し、厚く感謝申し上げます。本年も現場主義、地域主義に徹し、農業農村の振興に努めてまいりますので、よろしくご指導をお願い致します。

さて、昨年は、農政、国土強靱化、我が国経済にとって節目の年であったと考えています。土地改良法改正、食料・農業・農村基本計画の策定、農業構造転換集中対策の開始、新たな土地改良長期計画と第一次国土強靱化実施中期計画も策定されました。10月に高市早苗内閣が発足し、日本経済強靱化計画（通称サナエノミクス）が提唱され、我が国の経済転換の期待も広がっています。

3月の土地改良法の改正では、農業生産の基盤の整備に加えて保全に必要な施策を講ずることが明定され、土地改良区が市町村等と連携していわゆる水土里ビジョンを作成し、土地改良施設及び末端施設の保全を行う仕組みを位置付けました。

4月に策定された食料・農業・農村基本計画では、令和7年度からの5年間で農業の構造転換を集中的に進めることとし、「農地・水の確保」、「地域計画に基づく担い手への農地集積・集約化」、「農地の大区画化」等に関し具体策を位置付け、また、「食料システム全体で合理的な費用を考慮した価格形成を推進」することも位置付けました。自民党は、基本計画の実施に関して別枠予算の確保を求め、私はこれらの事業規模の積算を託され、実務的に2.5兆円の積み上げを行いました。

9月には新たな土地改良長期計画が策定され、「基盤整備による生産コストの低減」、「農業水利施設の戦略的な保管理による持続的な機能確保」、「激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策」等に関する5つの目標を設定しました。

6月には第一次国土強靱化実施中期計画が策定され、令和8年度から令和12年度に推進が特に必要となる施策目標を設定、5年間の事業規模を「おおむね20兆円強程度」を目途としました。土地改良では、防災重点農業用ため池の防災・減災対策、農業水利施設等の老朽化・耐震化対策などを進めることとしています。

11月には、総合経済対策が閣議決定され、食料安全保障の確立、防災・減災・国土強靱化等を推進していく上で必要な対策と予算が盛り込まれ、土地改良関係では2,439億円が措置されました。

これらの政策を進めるためには土地改良の推進が重要です。特に農業構造転換集中対策期間の5年間では別枠予算も確保して強力に進めていく必要があります。令和8年度に執行可能な土地改良予算は、令和7年度補正2,439億円と令和8年度概算決定4,504億円の合計6,942億円（昨年比442億円増）となっています。予算のスムーズな執行に対する貴連合会による技術支援とご協力をお願いいたします。私は本年も土地改良の推進のため努力してまいりますので、皆様方からの益々のご指導、ご支援をお願いし、新年のご挨拶と致します。



## 新年のごあいさつ ～儲かる産業としての農林水産業の確立を目指して～

岡山県農林水産部  
部長 清水 浩史

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素から本県農林水産行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

岡山県は温暖な気候、豊かな水を湛えた三大河川、北に爽やかな蒜山高原、南に広大な干拓地と風光明媚な瀬戸内海など、全国屈指の自然環境に恵まれており、そこで育まれる農林水産物もまた、全国に誇れるものであります。

さて、本県農林水産業を取り巻く状況は、人口減少や高齢化による担い手の減少、地球温暖化の進行による異常気象や自然災害の増加に加え、国際情勢の変化等による飼料や肥料、資機材の価格高騰など厳しい状況が続いております。

そのような中、本県では、県政推進の羅針盤である「第4次晴れの国おかやま生き生きプラン」や、本県農林水産行政の基本計画である「おかやま農林水産プラン」に基づき、県産農林水産物のブランド力強化や、力強い担い手の確保・育成、供給力の強化に向けた産地の規模拡大や生産性の向上、そして、これらを支える生産基盤の整備を進めております。

特に高い競争力を誇る桃やぶどうを中心に、新規就農者の確保・育成、生産基盤の整備などを一体的に行うハイブリッド産地育成加速化事業に総力を挙げて取り組んでおり、引き続き、時代の変化にも対応できる農林水産業の振興を図ってまいります。

また、国内外での効果的なプロモーションによるブランド化のさらなる推進や、スマート農業による生産性の向上を図るとともに、地域が目指す将来の農林水産業に最適な環境となるよう、生産基盤の整備や老朽化した施設の保全対策を計画的に進め、儲かる産業としての農林水産業の確立を目指してまいります。

さらに、昨年3月に岡山市・玉野市で発生した林野火災の復旧に全力で取り組むとともに、近年、激甚化・頻発化する自然災害から地域を守るため、防災重点農業用ため池の改修や廃止、海岸保全施設や排水機場、治山施設の整備等の防災・減災対策も着実に進め、安全・安心な地域づくりに努めてまいります。

本年も関係団体の皆様方と連携し、本県農林水産業の一層の振興に取り組んでまいり所存でありますので、引き続きのご支援・ご協力を賜りますよう、お願いいたしますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のごあいさつ

岡山県農林水産部  
参与 大賀 則男

会員の皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げるとともに、本県の農業農村整備事業の推進に当たりまして、格別の御支援と御協力を賜り、心からお礼申し上げます。

去年は、備前市出身で現在ドジャースに所属している山本由伸選手がワールドシリーズで MVP に選ばれるなど、メジャーリーグでの岡山県出身者の活躍に心躍らされました。

また、サッカー J リーグではファジアーノ岡山が見事 J1 残留を果たし、卓球 T リーグでは岡山リベッツにメダリストの張本選手が加入するなど、今年も岡山勢の活躍が大いに期待されます。

そして、本県の農産物においても首都圏における販売金額や海外への輸出金額は増加傾向にあり、岡山の魅力発信の一翼を担っておりますが、ひとえに土地改良施設の管理を通して、産地を支えていただいている会員の皆様のおかげであり、改めて感謝申し上げます。

農政に目を向けてみますと、昨年 4 月に新たな「食料農業農村基本計画」が閣議決定され、初動 5 年間で農業の構造転換を集中的に推進すると定められました。農業農村整備事業の関係では食料自給力の確保に向け、生産基盤の強化と生産性向上を目的に、スマート農業などに対応した基盤整備や農業水利施設の戦略的な保全管理、防災・減災対策を重点的に実施することとされています。高齢化や人口減少が進む中、食料安全保障の確保の観点からも生産基盤を維持していくことが、我々に課せられた大きな使命と考えているところです。

また、全国的には米不足や価格上昇が社会問題となり、政府備蓄米の放出も話題になりました。いまだ安定した米の価格や供給には不安が残る状況であり、農政の動きに生産者や消費者からも注目が集まっています。こうした中、県においては、「第 4 次晴れの国おかやま生き生きプラン」や「おかやま農林水産プラン」の基本目標である「儲かる産業としての農林水産業の確立」を目指して、これまで以上に魅力ある農林水産業づくりに取り組んでいくこととしております。このため、担い手への農地の集積・集約化や市場のニーズに応じた収益性の高い作物の導入が図られるよう、効果的・効率的な生産基盤の整備や、基幹水利施設の長寿命化対策、農村地域の防災・減災対策に計画的に取り組んでまいります。

今年は丙午の年であり、燃え盛るようなエネルギーで道を切り開く年といわれております。本県の農業・農村において、挑戦と飛躍の年となるよう、強い意志と情熱をもって取り組んでまいりますので、会員の皆様のさらなる御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして明るく幸多き年となりますよう御祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



## 新年のごあいさつ

岡山県農林水産部  
耕地課長 飯塚 知治

あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、つつがなく新春を迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、日頃から本県農業農村整備事業の推進に格別の御理解と御協力をいただいております、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、岡山県での果物栽培が始まって150年という節目の年であったことから、国内外へ県産のぶどうや桃の魅力を発信した一年となりました。特に去年は大阪・関西万博で『おかやま「桃太郎の夏休み」』を出展し、その中で県産のぶどうや牛肉などの試食を行い、国内外からの来場客に岡山県の農畜産物の魅力を強く印象付けることができました。

本年は岡山県でのマスカット・オブ・アレキサンドリアの生産開始から140年を迎える年であり、引き続き高品質な岡山の果物を県内外へ発信してまいります。

こうした高品質な農産物は首都圏や海外でも高い評価を受けており、市場のニーズが高まっていることから、農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用して水田を園地として再整備するなど、産地の規模拡大を行うとともに、研修ほ場の設置等による担い手の確保・育成など、桃やぶどうの供給力強化に向けた総合的な取組を進めています。

一方、昨年1月には埼玉県八潮市において、下水管の破損により道路が陥没しました。こうした施設の老朽化は本県でも進んでおり、県内各地でパイプラインの破損が起きています。将来にわたり高品質の果物栽培を支えることができるよう、引き続き、計画的な長寿命化対策にも取り組んでまいりたいと存じます。

また、毎年の猛暑が常態化しており、去年は猛暑に加え、日本海側を中心に7月から8月にかけて、雨が少なく渇水となり、本県でも影響があった一方で、九州豪雨など各地で記録的な豪雨により、甚大な被害が出ました。極端に雨が降ったり、あるいは全く降らなかったり、さらには、地震の懸念など、自然災害の恐ろしさや厳しさを感じるところであります。昨年6月に第1次国土強靱化実施中期計画が閣議決定され、5年間で約20兆円の予算規模が示されました。引き続き、ため池や排水機場等の用排水施設の整備を行い、地震や豪雨による農地・農業用施設等の被害を未然に防止し、安全・安心な地域づくりに努めてまいりたいと存じます。

本年も土地改良区や市町村の皆様方と連携を深めながら、こうした各種施策を進め、元気で活力ある農業・農村となるよう全力を尽くしてまいりますので、会員の皆様の更なる御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして幸多き発展の年となりますよう祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



## 新年のごあいさつ

岡山県農林水産部  
農村振興課長 金平 啓二

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、皆様方には、日頃より農業農村整備事業を通じ、本県の農業・農村の振興に、御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、米価格の高騰が国民の大きな話題となり、我が国の食料供給に対する懸念が広がる中、「食料・農業・農村基本計画」、「土地改良法」、「土地改良長期計画」といった国の農業農村政策の根幹となる法律、計画の改正が行われたところです。

本県でも、人口減少や高齢化による担い手不足、荒廃農地の増加、肥料・燃油・資材高騰など農業を取り巻く状況は厳しさが増しており、次代を担う力強い担い手の確保・育成、経営の効率化に向けた農地の集積・集約化に加え、地域の特色ある農業生産活動が継続できるよう、関係者が一体となった取組を進める必要があります。このため、県では昨年策定された「第4次晴れの国おかやま生き生きプラン」や「おかやま農林水産プラン」に基づき、農林水産業が儲かる産業として確立するための各種施策に取り組んでおります。

特に、重点施策である農地の集積・集約化については、農業経営基盤強化促進法等の改正を踏まえ、地域の将来の農業や農地利用に関する目標等を定めた地域計画をもとに、農地の効率的利用や生産性の向上、担い手の確保・育成が図られるよう、農地中間管理事業を活用した取組等を進めることとしております。

また、中山間地域の農業・農村の活性化を図るため、荒廃農地の発生防止や多面的機能の維持・発揮に向けた日本型直接支払制度を推進するほか、農村型地域運営組織（農村 RMO）形成に向けた取組の支援、農家民宿や直売所等と食や地域観光資源を結びつけた情報発信にも取り組むこととしております。

さらに、農地の畦畔等の草刈作業の負担軽減を図るため、リモコン草刈機の普及促進に向けた現地実演会や、県所有草刈機の貸出しを引き続き実施していくこととしております。

本年も、会員の皆様と力を合わせ、粘り強く諸課題の解決に取り組んでまいり所存でありますので、引き続きの御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様方の御健勝と御繁栄を祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

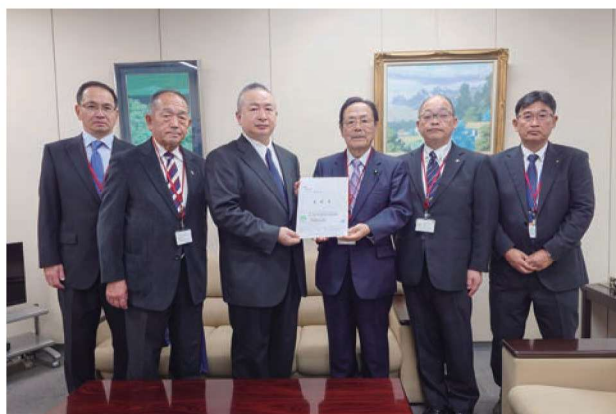
## 令和8年度農業農村整備事業関係予算確保に向けた提案・要望活動 －岡山県土地改良事業団体連合会・岡山県農業農村整備事業推進協議会合同－

11月25日（火）、26日（水）の2日間、岡山県土地改良事業団体連合会と岡山県農業農村整備事業推進協議会は、財務省、総務省、農林水産省、自由民主党及び岡山県関係国会議員に対し、令和8年度農業農村整備事業関係予算確保に向けた提案・要望活動を行った。

今回の活動は、県内土地改良区から西大寺土地改良区の石井事務局長、美咲町建設課の林田課長、岡山県農林水産部の飯塚耕地課長、県土連からは石井会長、山崎副会長らが参加し、地域の実情を訴えるとともに、積極的な意見交換を行った。



高橋財務大臣政務官



総務省 自治財務局 出口局長



山下農林水産副大臣



農林水産省 農村振興局 石川整備部長



自由民主党 鈴木幹事長



衆議院議員 逢沢 一郎



衆議院議員 加藤 勝信



衆議院議員 平沼 正二郎（秘書）



衆議院議員 山下 貴司（秘書）



参議院議員 小林 孝一郎



参議院議員 谷合 正明



参議院議員 進藤 金日子（秘書）

### 提案・要望項目

- 1 現場ニーズに応えられる農業農村整備事業関係予算の確保について  
計画的かつ安定的な事業執行のため、現場ニーズに応えられる規模の農業農村整備事業関係予算を確保すること
- 2 防災・減災対策の更なる推進について  
防災・減災対策の更なる推進を図るため、「緊急自然災害防止対策事業債」及び「防災重点農業用ため池緊急整備事業」の終期を延長すること
- 3 土地改良区の運営基盤の強化について  
農業水利施設等の保全体制を確実に構築するために土地改良区の運営基盤の強化を図ること

令和7年11月

岡山県土地改良事業団体連合会

会長 石井 正弘

岡山県農業農村整備事業推進協議会

会長 伊東 香織

## 農業農村整備の集い ―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて―

11月26日（水）、東京都の砂防会館別館「シェーンパッハ・サボー」において「農業農村整備の集い―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて―」（主催：全国土地改良事業団体連合会、都道府県土地改良事業団体連合会）が開催され、国会議員や農林水産省幹部など多くの来賓が臨席し、全国から土地改良関係者約1,200名が結集した。

冒頭、全国土地改良事業団体連合会二階会長から開会挨拶の後、来賓として鈴木農林水産大臣、城内日本成長戦略担当大臣、森山食料安全保障強化対策本部長、宮下総合農林政策調査会長、進藤全国水土里ネット会長会議顧問が祝辞を述べた。

続いて、令和8年度全国土地改良大会開催県である奈良県土地改良事業団体連合会の菅谷常務理事が要請書（案）を朗読し、全会一致で採択された。

最後に奈良県土地改良事業団体連合会の上田理事



による力強い発声に合わせ、参加者全員による“ガンバロウ三唱”で閉会した。

閉会后、岡山県からの参加者は、採択された要請書により岡山県選出の国会議員等へ要請活動を行った。

### 要 請 書

- 一 食料・農業・農村基本計画や土地改良長期計画に基づき初動5年間で農業の構造転換を集中的に実施するとともに、国土強靱化実施中期計画に基づいた取組を一層推し進めるため、農業・農村を支え、守り、我が国の食料安全保障の確保に欠かせない土地改良事業をスピード感を持って推進できるよう、当初及び補正予算とあらゆる機会において、別枠を含めた必要な予算をしっかりと確保すること。その際、地方公共団体の負担軽減のための一層の支援策を講じること。
- 二 土地改良法の改正を受けて、制度の趣旨及び内容の十分な浸透を図ること。また、水土里ビジョンの作成を始めとする農地・農業用水等の地域資源を次世代につなごうとする土地改良区や土地改良事業団体連合会、市町村等の取組への支援や地方財政措置の充実を図ること。
- 三 国内の農業生産の増大と食料自給力の確保のため、地域計画に基づく担い手への農地の集積・集約化、高収益作物の生産拡大、麦・大豆等の本作化、スマート農業の導入やほ場周りの管理の省力化を促し生産性向上に資する大区画化、中山間地域におけるきめ細かな整備等の農地整備と情報通信環境の整備を推進すること。
- 四 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めるとともに、農地復旧についての農家負担の軽減に配慮すること。併せて、農村地域の国土強靱化のため、基幹から末端に至るまでの農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を推進すること。
- 五 自然的、社会的、経済的な情勢変化を踏まえ、高い公共性・公益性を有し、食料の安全保障の確保に貢献している土地改良施設の維持管理に対する支援を充実させること。
- 六 農村地域を支えている多面的機能支払や中山間地域等直接支払について、活動組織の体制強化や支援範囲の拡大等を図るため、更なる制度の拡充及び必要な予算の確保を行うこと。
- 七 ICT、AI等を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進するとともに、中小規模の土地改良区を対象とした合併など、食料安全保障を支える土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 八 上記事項の推進に当たり、発注体制や施工業者の受注環境の整備等の事業の執行体制の充実を図るとともに、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。

令和7年6月18日

全国土地改良事業団体連合会  
都道府県土地改良事業団体連合会

## 第58回岡山県農林漁業功労者表彰

岡山県の農林漁業の振興のために献身的な活動を続け、その功績が特に顕著で優秀と認められる個人又は団体を表彰する「岡山県農林漁業功労者表彰」

の表彰式が、12月24日（水）岡山県庁で開催され、土地改良部門で次の4名の方々が受賞された。

### 【知事表彰】



片岡 榮一 氏 岡山市（旭東土地改良区 理事長）

旭東土地改良区の理事及び理事長として、長年にわたり土地改良区の健全な運営に寄与するとともに、地域農業に大きな役割を果たしている土地改良施設の維持管理に取り組み、広大な受益地の農業振興に尽力している。

また、老朽化が進んでいた新堰・新地堰や排水機場の改修を進めるとともに、地区内の水路や樋門を計画的に補修整備しているほか、大雨が予想される場合には農業用水路の事前の水位低下による流域治水に積極的に取り組むなど、農業経営の安定や地域住民の安全・安心に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。

### 【農林水産部長表彰】



中原 伯夫 氏 倉敷市（備南土地改良区 理事長）

備南土地改良区の理事長として、健全な土地改良区の運営や積極的な女性役員の登用に尽力している。特に、平成30年7月豪雨の際には被災農家の賦課金を免除するなど、負担軽減を行った。

また、老朽化しているパイプラインの機能維持を図っているほか、関係機関との調整により新たな農地を編入することで地域の産地拡大に貢献し、地域農業の振興に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。



福田 修一 氏 津山市（近平用水土地改良区 前理事長）

近平用水土地改良区の理事及び理事長として、健全な土地改良区の運営や土地改良施設の適正な管理に尽力した。

また、土地改良区が管理する水路は急峻な山腹に設置されており、土砂の流入防止対策や補修など、維持管理に多大な労力を費やしていることから、土砂の流入を防止する水路整備事業を実施し、農業経営の安定に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。



藤原 安生 氏 岡山市（高崎土地改良区 前理事長）

高崎土地改良区の理事長として、健全な土地改良区の運営や土地改良施設の適正な管理、積極的な女性役員の登用に尽力した。

また、県や周辺土地改良区との意見交換会を行うなど、地域全体の維持管理の体制を作るとともに、未整備の水路や老朽化している樋門の整備を行い、農業用水の安定供給に貢献した。

さらに、老朽化しているパイプラインの長寿命化対策の事業化に尽力し、農業経営の安定と地域農業の振興に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。

（功績概要は岡山県ホームページから引用）

## 令和7年度土地改良区運営基盤強化推進研修開催

令和7年度土地改良区運営基盤強化推進研修（主催：全国土地改良事業団体連合会）が、11月18日（火）に津山市の津山圏域雇用労働センター、19日（水）には、岡山市北区の岡山シティホテル桑田町で開催された。

この研修会は、土地改良区の統合整備をはじめとする土地改良区の運営基盤の強化と関係者の資質向上を目的としており、全国土地改良事業団体連合会の前田仁上席参与らが講師を務め、土地改良区の会

計処理や現状と課題、業務運営や経営診断、水土里ビジョンについて講義を行った。

研修会には延べ55名が出席。受講者からは「賦課金を徴収する基本的な考え方、伝え方、維持管理計画を更新していくことの意義、組織の役員と事務局の関係について、とても参考になった」や「地域関係者と話す機会を設けて、次世代に継承していくことが大切だと痛感した」などの意見が寄せられた。



岡山会場



津山会場

## 第68回学校農業クラブ岡山県大会

11月20日（木）、岡山県立興陽高等学校において第68回学校農業クラブ岡山県大会が開催された。

この大会は、県内農業関係の高校8校で構成する「岡山県学校農業クラブ」の生徒が、日頃の活動の成果を発表し、クラブ員相互の研修と交流を深めることによって、将来の農業の担い手を育成するとともに、産業人としての資質向上を図ることを目的として毎年開催されている。当日は約500人の生徒が参加し、表彰式や発表会が盛大に行われ、当会からは測量競技（セオドライトの部）の最優秀賞の受賞者に対し、岡山県土地改良事業団体連合会会長賞を授与した。



## つながる、広がる、農業農村の力。男女共同参画推進大会 in くまもと

11月4日（火）、5日（水）の2日間、熊本市において、「つながる、広がる、農業農村の力。男女共同参画推進大会 in くまもと」が開催された。

本大会は、農業農村整備事業に携わる全国の女性が一堂に集い、男女共同参画推進の意義を深く理解するとともに、女性が活躍できる環境づくりを支援し、全国的な意識共有と組織の発展、そしてひとりひとりが活躍できる持続可能な農業農村の実現を目的とし、当日は各県女性の会の役員、水土里ネット女性理事、各県土連の役職員など約200名が出席



した。

1日目はホテルメルパルク熊本において大会式典が行われ、山川地区土地改良区の徳永順子理事（福岡県みやま市農業委員会会長）から「やる気スイッチは押しつ押しされつ」というテーマで基調講演があった。

講演後、全国土地改良事業団体連合会土地改良研究所の親泊所長がコーディネーターとなっており、アドバイザーの徳永理事と4人のパネラー（熊本県農地整備課の大森課長、熊本県土地改良事業団体連合会の酒瀬川理事、くまもと水土里ネット女性の会の田尻前会長、長崎県土地改良事業団体連合会の松本理事）とともに、「誰もが活躍できる地域農業を目指して～水土里ネットの挑戦～」をテーマにパネルディスカッションが行われた。

2日目の現地研修では、平成28年熊本地震で甚大な被害を受けた秋津飯野地区を訪れ、被災した土地改良区事務所、農地、農業用施設の営農を優先した創造的復興の取組について説明を受けた後、現地視察が行われた。

## おかやま水土里ネット女性の会 お飾り作りワークショップ

12月11日（木）総社市において、おかやま水土里ネット女性の会お飾り作りワークショップが開催され、県内土地改良区と県土連の女性の会会員18名が参加した。

おかやま農業女子メンバーでもあり、（株）山雅ファブリカンの宣伝部長をされている山下希さんを講師に招き、就農して間もない頃の苦勞を乗り越え、人（顧客、従業員、家族）を大切にしながら新たな挑戦をする中で、稲わらを使ったお飾りを商品化したエピソードを聴くとともに、お飾り作りのワークショップが行われた。

また、おかやま農業女子仲間の（株）コアラファームの小原さんと（株）ミフカの小坂さんにも参加していただき、農作物や六次産業化などについて意見

交換が行われた。

最後に、お互いの作品の出来栄に感想を言い合いながら、和気あいあいとした雰囲気での終了した。



前列右から3人目が山下希さん

## 小阪部川ダム施設保全活動に参加

11月20日(木)、高梁川用水土地改良区主催による小阪部川ダム施設保全活動が開催され、ボランティア組織や地域住民などが参加し、当会からは3名が参加した。

小阪部川ダム(新見市上熊谷)は、岡山県南にある市町の水田に農業用水を補給する重要な役割があり、その他にも水道水や水力発電としても活用されている。また、この地域は岡山県から「高梁川上流県立自然公園」に指定されており、美しい景観の保

全保護が推進されている。

しかし、近年、河川へ投棄されたゴミがダム湖に集積され、ダム管理に支障をきたすとともに、景観が損なわれる原因となっている。そのため、ダム湖周辺のゴミ拾いや草刈り、公園の整備などを平成23年度から実施している。

この日は約2時間かけて、心地よい汗をかきながら、公園及び美穀神社周辺の草刈りやごみ収集を行った。



## 岡山県土地改良事業団体連合会 今後の主な行事予定

| 日付          | 行事                                                            | 場所       |
|-------------|---------------------------------------------------------------|----------|
| 令和8年2月9日(月) | 第69回通常総会                                                      | 岡山プラザホテル |
| 3月25日(水)    | 第67回全国土地改良功労者等表彰式<br>農業農村整備優良地区コンクール表彰式<br>(主催:全国土地改良事業団体連合会) | 東京都      |

### 岡山県の土地改良 題字:石井正弘書 第622号 令和8年1月30日発行

発行所●岡山県土地改良事業団体連合会 〒700-0824 岡山市北区内山下1丁目3番7号 県土連ビル  
☎086-225-0921 fax086-226-0068  
総務部 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館3F・2F  
☎086-207-2200 fax086-207-2202 e-mail:info@okadoren.or.jp http://www.okadoren.or.jp  
岡山ため池保全管理サポートセンター 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館2F  
☎086-207-2324 fax086-272-3937  
ため池相談窓口(月、木) ☎086-207-2282  
事業部 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館2F  
☎086-273-2110 fax086-272-3937  
事業部技術第三課 〒708-0051 津山市椿高下128-1  
☎0868-35-2178 fax0868-35-2179

